

「徳島県立テクノスクール再編について（素案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

令和 7 年 6 月 9 日（月）から令和 7 年 7 月 9 日（水）まで「徳島県立テクノスクール再編について（素案）」について、パブリックコメントによりご意見を募集したところ、12 名の方から 12 件の御意見をいただきました。

御意見の概要と県の考え方は次のとおりです。

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
1	○徳島県立テクノスクール再編に当たっては、国家資格の取得に重点を置く。 ※ 二級建築士、木造建築士、発破技士、潜水土、ボイラー技士、クレーン・デリック運転士・林業架線作業主任者、木材加工用機械作業主任者、エックス線作業主任者など	4（3）「再編の方向性」の②で、資格取得について記載しているとおり、職業訓練においては、資格の取得が重要と考えており、いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
2	私はテクノスクール美容科の卒業生です。美容科が無くなると聞き、なぜなくすのか疑問に思ったので私の意見をお伝え申し上げます。 テクノスクールは学費も低額で、学歴を問わず入試を受けることができます。この制度に助けられたのは私だけではありません。 美容師不足で店舗を縮小させたり、深刻な人員不足で経営危機に陥っている美容室が多い中で金銭的な事情や学歴で美容師の道を諦めざるを得ない状況を作ってはいけないと思います。 私立の美容学校には奨学金の制度を導入している学校もあるかと思いますが、いざ働きはじめたはいいもののアシスタントのうちは毎月奨学金の返済をするとなると現実的ではないです。正直、奨学金の返済が無くともアシスタントの給料で生活していくのは大変です。せっかく美容師として働きはじめたのに奨学金の返済で生活が苦しく転職するなんてことになれば本末転倒もいいところです。 物価の高騰で不景気が続き、片親や貧困家庭が増え続けている今こそ学びの機会が必要であり美容師不足の今こそ美容科が必要ではないでしょうか。 県西部や県南部にも増やしたほうがいいのではないかと思うほどです。 ご検討のほどお願い申し上げます。	公共職業能力開発施設における職業訓練の実施に当たっては、厚生労働省から、「官民の役割分担に配慮した民間の教育訓練施設との競争を避けることが重要」との方針が示されています。 中央テクノスクールの「美容科」は、徳島市に2校ある民間の教育訓練施設（専修学校）と内容が重複しており、「徳島県職業能力開発審議会」や企業・業界からのご意見等を踏まえ、官民の役割分担の観点から廃止するものです。 金銭的な負担の問題につきましては、県内の専修学校はいずれも「高等教育の修学支援新制度」の対象となっており、要件に該当する学生は、「給付型奨学金の支給」及び「授業料・入学金の免除又は減免」を受けることができます。 また、「貸与型奨学金」の貸与を受ける場合についても、卒業後の一定期間以上の県内就業を要件とした、県が実施している「徳島県奨学金返還支援制度」などにより助成を受けることができる場合があります。 これらの制度を活用いただくことにより、可能な限り修学費用の負担軽減に努めて参ります。 また、離職者については、国の「専門実践教育訓練給付金」を活用でき、一定の要件を満たせば、支払った教育訓練経費の最大で80％に相当する額をハローワークから受給できます。 さらに、テクノスクールが、これまで「セーフティネット」機能を果たしてきたことを踏まえ、離職者が正社員就職の実現を目指すことを目的に、受講料が無料となる「委託訓練」のコースに「美容」を追加するなど、金銭的な理由で美容師を志す方が夢を諦めることがないよう、引き続き経済的負担の軽減策を検討し、県民の皆様の修業機会の確保に努めて参ります。

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
3	中央テクノスクールの理容科を卒業した者です！ 今回の再編で美容科が令和8年の在校生で修了してしまうのはもう一度考え直して欲しいです。 中央テクノスクール美容科に入学したい学生さん社会人の方々も多いと思います！ 他の美容学校には無い中央テクノスクール美容科の魅力をもっと知ってもらえるように活動していただきたいです！ まだまだできる事は沢山あると思います！一度考え直してみてください！	同上
4	私は、中央テクノスクール美容科を無くすことに反対です。 家庭を持ってる人で美容師を目指したいと思っている人の場合、経済的にも難しく、夢を諦めなければいけなくなってしまふ人が沢山出てくると思います。 その点、職業訓練校だと、ハローワークを通じて給付金を受けながら通えることや、離職者訓練、求職者支援訓練があることから、離職者が手に職をつけることができ、新しい人生をスタートするきっかけにもなると思います。 私自身、高校卒業後に中央テクノスクール理容科を卒業しており、その3年後に美容科に通っていたのですが、その時子供が小さかったこともあり、途中でやめなくてはいけなくなり、子どもがある程度大きくなったら再度中央テクノスクールの美容科を受けようと思っていたので、絶対に無くさないで欲しいです。 徳島県の他の美容学校には無い良さが、中央テクノスクール美容科には沢山あります。	同上
5	徳島中央テクノスクール美容科について 年齢問わず美容業について学べるいい機関だと思う。 また、学費も安く、国家試験の合格率も高いことから、県内の美容師を目指す人達にとっては必要とされているのではないかと考える。 これらのことから、美容科を無くすという案については反対である。	同上

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
6	私は、県立美容学校の再編に強く反対いたします。 以下にその理由を述べ、再考を求めます。 1. 公費による公平な再教育の実現と教育の機会が不平等に 再編で通学が難しくなると、地方や経済的に厳しい家庭の学生が進学を諦めかねません。 職業訓練機能を持つことで、経済的に厳しい人でも技能を習得し、新たな職を得る事が可能になります。 これは県の公的支援によって成り立っており、民間では代替しにくい役割です。 2. 地域雇用との連携 美容業界は慢性的な人手不足に直面しています。 県立美容学校は、地域のサロンと連携しながら、即戦力となる人材を育成しています。 その訓練機能が失われれば、地域経済にも大きな打撃となります。 3. 県の公的責任が果たされない 県立校は「誰もが学べる・やり直せる場所」です。 その社会的責任を安易に手放すべきではないと思います。 ・まとめ 県立美容学校の再編によって職業訓練機能が縮小されれば、若者だけでなく再挑戦を目指す多くの県民にとって大きな損失です。 地域の美容業界にも影響が出る恐れもあります。 単なる「学校の整理」ではなく、社会インフラとしての意味を再評価する必要があります。 もっと現場の声を聞き、丁寧な議論と再考を求めます。	同上
7	徳島県立中央テクノスクール美容科の令和10年での廃止に反対します。私はこの学科の卒業生で、学費が安く国家資格が取得できる、非常に貴重な学びの場だったと実感しています。先生の指導も手厚く、厳しくも楽しく学べる環境で、人生を変えてくれた学校でした。 この美容科は、令和7年度から年齢制限が撤廃され、より多くの人が学べるようになったばかりです。それなのに、わずか2年後に廃止するのは矛盾しており、方針として一貫性がありません。資料には「人材不足の業界に人を送り出すため」とも書かれていましたが、まさにその役割を果たしているのがこの美容科です。 徳島県には美容の専門学校が3校しかなく、その中で経済的に通える公立校はここだけです。私自身、私立には通えなかったため、テクノスクールがあったからこそ夢を叶えることができました。 数字だけで判断せず、実際に学んだ人の声や現場の価値を見て、この素晴らしい学科を未来にも残していただきたいです。 県が未来の人材育成を本気で考えるのであれば、どうかこの学科を残す選択をしていただきたいです。 卒業生として、そして一人の県民として、強くお願い申し上げます。	同上

No.	御意見の概要	御意見に対する考え方
8	テクノスクール美容科は今年度より年齢制限の上限が無くなったが、そのすぐ後に美容科を無くすのは何故か。元々無くすことが決まっていたなら、そのような措置をする必要は無かったのではないかと急に決まったことだが、テクノスクール美容科が存続することでなにか都合の悪いことでもあるのだろうか。どのような考えを持ってこのような経緯に至ったのかを、是非納得できるように説明していただきたい。 これから美容師免許を取得したい方達の道を狭めるのが、徳島県のやり方なのか？美容師免許を取得したい人は増えていく一方のこの時代、テクノスクール美容科を無くすべきでは無い。	同上
9	美容科が無くなるのはどうなのかなと思った。 徳島県だと他は市立等お金のかかる場所ばかりになってしまうのでお金の無い人が美容師を目指せなくなるのが良くないのでは？	同上
10	美容科について一文しか書かれておりませんが、美容科をなぜ無くなるのですか？Wライセンスの取得を推進しているのであれば、理容科と共に美容科も残すべきだと思います。 穴吹カレッジ、徳美と2校ありますが、奨学金制度はあれど負担額はかなり大きいと思います。経済的に苦しい人は切り捨てるおつもりでしょうか。 はっきりと記載をお願いいたします。	同上
11	美容科にはとてもお世話になったので、無くなってほしくないです。 どうか検討をお願いします。	同上
12	入校か入学かは分かりませんが、入るための資格条件がありません。求人票を職安に出している人か、現在の自分の状況がどうであればよいのか、分からない。会社の紹介があればよいのか、出身学校の紹介なのか。何にも条件なしで受け入れてもらえるのか分からない。高校卒云々とありますが、中退はどうか。気になります。	現在、学歴については、特に条件を設けていない訓練科と高卒以上が条件となる訓練科があります。再編に向けては、今後、新しい訓練科の内容とともに、応募資格についても検討して参ります。 なお、応募手続については、入校志望のテクノスクール又は各公共職業安定所に入校願書を提出することとなります。ただし、新規中学校卒業見込みの方は、学校所轄の公共職業安定所に入校願書を提出していただきます。また、就労経験のある方は、出願前に居住地を所管する公共職業安定所で、職業相談を行っていただく必要があります。